

プログラムの紹介

プログラムを子どもと母親が同時並行で学ぶことで効果を高めています。プログラムはスタンダード版は12回ですが、実施する場所に合わせて、回数を少なく行うことも可能です。

5回版プログラム



	テーマ	目的
	オリエンテーション	顔合わせ
1回	みんな、ようこそ	安全、安心な気持ちが大事なことを学ぶ。人権、暴力について考える。
2回	ぼうりょくはいやだ 暴力とその影響	怒りと暴力の違いを知る。怒りを暴力以外の方法で伝えることを考える。
3回	あんぜんけいかく	自分を守ること、守っていいことを学ぶ。
4回	みんなちがって、 みんないい	いろんな感情を表す言葉を知る。自分の感情を表現し、相手に伝える。
5回	だいじな わたし	お互いに尊重し合い、暴力を用いずに、対等な話し合いで問題を解決することを学ぶ。

びーらぶプログラムを受けたい方、びーらぶインストラクター養成講座を受けたい方、地域でびーらぶプログラムを開催したい方等は“びーらぶ秋田”までお問い合わせ下さい。

母親プログラム

毎回子どもと同じテーマで「暴力の構造」「DVの子どもや女性への影響」や「自分たちが持つ権利」等について学び、ワークや分かち合いを通して「自分の力を取り戻して」いきます。

子どもプログラム

遊びや人形劇を通じて「自分はたいせつな存在である」ことを知り、「自分の気持ちを感じて表現すること」や「暴力的でない関係のつくりかた」等を学びます。

年齢別に4つのプログラムがあります

就学前

小学校
低学年

小学校
高学年

中学生
以降

こんな使い方も

子どもプログラム
だけを使って、養護
施設、保育園、学校
などで実施。

施設職員、里親、
保育士、教師など
子どもに関わる仕事
の研修に応用。